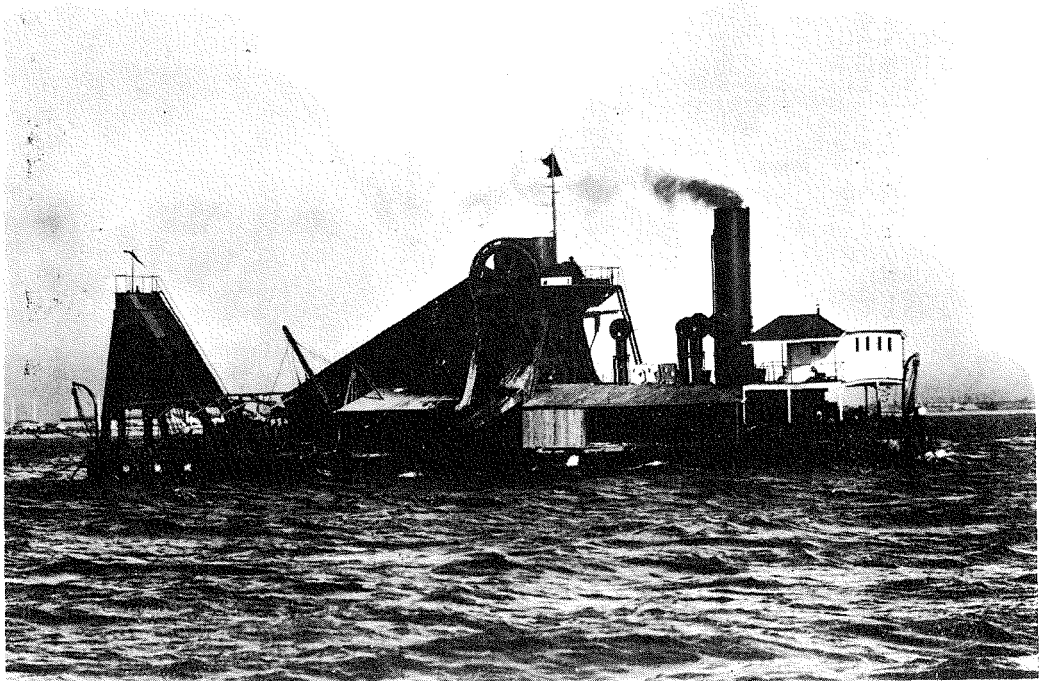


東京市鋤鏈式浚渫船『筑波』



City of Tokyo purchased recently a dredging boat for excavating sea-bed around the municipality wharf at Shibaura. The dredger has dredging capacity of 70 cubic Tsubo per hour.

東京港築港

の魁たる隅田川口改良工事に使用のものにして其概要左の如し。

能力 浚渫土量 70 立坪(毎時間) 浚渫深度 35呎 (水面下)

船體 鋼製箱型非自走式 長 148 呎 幅 33 呎 深 11 呎 吃水 7 呎

主汽機 逆立型二回膨脹表面冷汽式一臺 汽筒直徑高壓18吋低壓36吋 行程24吋 廻轉數 100 (毎分間) 馬力 400

主汽罐 船用筒型多管式一臺 直徑14呎 長 10 呎 常用汽壓 130 封度 (毎平方吋)

浚渫装置 本船の特徴とするは浚渫装置にして本装置の連動機「タンブラー」「バケツ」等は英國「ロブニッツ」會社製の最新式のものゝす「タンブラー」は上部五角下部

六角にして下部のものは英國「ハドフールド」會社製專賣品を使用せり「バケツ」は一個の容量20立方呎にして之を36個連結し毎分間の廻轉は20なるも必要に依り12に減速するを得 中央檣は其構造從來と異なり嶄新の設計になりしものにして震動に對し特に注意せられたり。

本船は昭和2年7月大阪鐵工所に於て建造せしものにして其建造費397000圓とす (東京市土木局河港課技師 篠崎正秋)